

2022年4月5日

## 専門委員会開催報告

会合名	第8回「原子炉における機構論的限界熱流束評価技術」研究専門委員会
会議種別	本会議
開催日時	2022年4月4日(月)13:00~17:00
開催場所	Webex
参加人数	19名(委員)、1名(オブザーバー) 大川主査(電通大)、森幹事(九大)、坂下委員(北大)、伊藤委員(京都大学)、上遠野委員(日立)、古市委員(日立)、高野委員(三菱)、淀委員(三菱)、古谷委員(早稲田大)、新井委員(電中研)、牧野委員(NDC)、小林委員(GNF-J)、小宮山委員(MNF)、笹川委員(NFI)、小瀬委員(YSE)、上澤委員(JAEA)、小泉委員(電通大)、吉田幹事(JAEA)、小野幹事(JAEA) オブザーバー:池田氏(日立)
議事	<ol style="list-style-type: none"><li>第7回議事録について、確認・承認を得た。</li><li>事務連絡の確認において、委員名簿の更新部分の確認を行い、変更がある場合はメール等で幹事への連絡を依頼した。</li><li>幹事より、本日の進め方の方針について、以下のように議論を行った。<ul style="list-style-type: none"><li>まとめ表の各項目について、委員間の合議を取りながら評価を行った。</li><li>評価結果について、持ち帰り次回委員会までに評価結果が適切かどうか検討することとした。</li></ul></li><li>今後のスケジュール確認を行い、第9回委員会でPWRの評価法についての原案承認、BWRの評価法の議論を行うこととした。</li><li>NTHAS12における企画セッションについて、内容、構成、担当について議論を行い、発表者を決定した。</li><li>最終報告書の担当割を行った。</li><li>次回の委員会は、令和4年6月1日(水)PM(13:30~17:30)開催で合意した。</li></ol>
備考	

2022年6月2日

## 専門委員会開催報告

会合名	第9回「原子炉における機構論的限界熱流束評価技術」研究専門委員会
会議種別	本会議
開催日時	2022年6月1日(水)13:00~17:30
開催場所	Webex
参加人数	20名(委員)、1名(オブザーバー) 大川主査(電通大)、森幹事(九大)、坂下委員(北大)、伊藤委員(京都大学)、劉委員(九州大)、上遠野委員(日立)、古市委員(日立)、塚田委員(東芝)、高野委員(三菱)、淀委員(三菱)、古谷委員(早稲田大)、新井委員(電中研)、牧野委員(NDC)、小林委員(GNF-J)、小宮山委員(MNF)、笹川委員(NFI)、小瀬委員(YSE)、上澤委員(JAEA)、吉田幹事(JAEA)、小野幹事(JAEA) オブザーバー:池田氏(日立)
議事	<ol style="list-style-type: none"><li>第8回議事録について、確認・承認を得た。</li><li>事務連絡において、委員会での企画セッションについて2022年秋の大会での報告はとりやめ、2023年春の大会で行うこととした旨、報告した(他の研究委員会との調整の結果)。10月末開催のNTHAS12において、委員会として開催するオーガナイズドセッションでの発表タイトル共有を行った。</li><li>委員名簿の更新部分の確認を行い、変更がある場合はメール等で幹事へ連絡を依頼した。</li><li>幹事より、前回委員会でのコメントを反映した修正版について資料紹介があり、それを基に議論をした。数多くの評価手法の組合せについてスコア付けを行ったが、いくつか重要と思われる評価手法の組合せをピックアップして、議論を行った。また、それぞれ重要と判断した評価手法について必要と思われる研究開発やブレークスルーとなる技術について議論が必要である旨コメントを受け、次回の議題とすることとした。BWRにおけるスコア付けのドラフトについて紹介が行われた。</li><li>最終報告書のフォーマットについて説明を行い、合意を得た。</li><li>次回の委員会は、令和4年7月28日(木)PM(13:30~17:30)開催で合意した。</li></ol>
備考	

## 専門委員会開催報告

会合名	第10回「原子炉における機構論的限界熱流束評価技術」研究専門委員会
会議種別	本会議
開催日時	2022年7月28日(木)13:00~15:30
開催場所	Webex
参加人数	20名(委員)、1名(オブザーバー) 大川主査(電通大)、森幹事(九大)、坂下委員(北大)、伊藤委員(京都大学)、劉委員(九州大)、上遠野委員(日立)、古市委員(日立)、塚田委員(東芝)、高野委員(三菱)、淀委員(三菱)、古谷委員(早稲田大)、新井委員(電中研)、牧野委員(NDC)、小林委員(GNF-J)、笹川委員(NFI)、小瀬委員(YSE)、小泉委員(電通大)、上澤委員(JAEA)、吉田幹事(JAEA)、小野幹事(JAEA) オブザーバー:池田氏(日立)
議事	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 第9回議事録について、確認・承認を得た。</li><li>2. 事務連絡において、委員名簿の更新部分の確認を行い、変更がある場合はメール等で幹事へ連絡を依頼した。</li><li>3. 幹事より、前回委員会でのコメントを反映した修正版について資料紹介があり、それを基に議論をした。手法の最終評価結果(スコアのグラフ化)について、前回に引き続き考察を行った。BWRの評価手法のスコア付けについて進捗報告があり、議論を行った。委員のうちのBWR関係者で今後議論を進めることとした。</li><li>4. 最終報告書の進捗状況について委員間で報告があった。</li><li>6. 次回の委員会は、令和4年9月29日(木)PM(13:30~17:30)開催で合意した。</li></ol>
備考	

2022年9月30日

## 専門委員会開催報告

会合名	第11回「原子炉における機構論的限界熱流束評価技術」研究専門委員会
会議種別	本会議
開催日時	2022年9月29日(木)13:00~17:30
開催場所	Webex/電気通信大学(ハイブリッド開催)
参加人数	18名(委員)、2名(オブザーバー) 大川主査(電通大)、坂下委員(北大)、伊藤委員(京都大学)、上遠野委員(日立)、古市委員(日立)、成島委員(日立)、塚田委員(東芝)、高野委員(三菱)、淀委員(三菱)、小宮山委員(三菱原子燃料)、新井委員(電中研)、牧野委員(NDC)、小林委員(GNF-J)、小瀬委員(YSE)、小泉委員(電通大)、上澤委員(JAEA)、吉田幹事(JAEA)、小野幹事(JAEA) オブザーバー:池田氏(日立)、山下氏(JAEA)
議事	<ol style="list-style-type: none"><li>第10回議事録について、確認・承認を得た。</li><li>事務連絡において、委員名簿の更新部分の確認を行い、変更がある場合はメール等で幹事へ連絡を依頼した。</li><li>幹事より、前回委員会でのコメントを反映した最終版について資料紹介があり、それを基に議論をした。委員間において最終結果の合意を得た。BWRの評価手法のスコア付けについて進捗報告があり、議論を行った。今後、報告書の形に執筆する旨の報告があった。</li><li>最終報告書の進捗状況について委員間で報告があった。</li><li>NTHAS12でのオーガナイズドセッションにおける最終確認および2023年春の年会での企画セッションの発表内容と担当者について決定した。</li></ol>
備考	